令和6年度 小平市立小平第一中学校 学校評価計画表

学校教育目標	1 賢い生徒:学業成績だけでなく、問題解決や自己表現、他者への共感等の力をもった生徒を育成する 2 協働する生徒:よりよい人生や社会の実現に向けて、他者を理解し、協働する力をもった生徒を育成する 3 くじけない心のある生徒: 困難や逆境に出会っても折れない心のしなやかさや回復する心の強さをもった生徒を育成する
---------------	---

目指す学校像(ビジョン)	
【目指す学校像】	・生徒が毎日楽しく通えて自分の力を伸ばすことができる ・教職員が働く喜びと誇りを持てる ・保護者が安心・信頼をもち子どもを任せられる ・地域が学校と力を合わせ子どもたちを育てる実感がもてる
【目指す児童・生徒像】	・問題解決や自己実現、他者への共感力をもつ ・よりよい人生や社会の実現に向け他者を理解し協働する心をもつ ・困難や逆境にあっても折れない心のしなやかさや回復する心の強さをもつ ・基本的な生活習慣が身に付いた、心身共に健康な生徒
【目指す教員像】	・よりよい教育活動について考え行動できる ・生徒一人一人を心から慈しみ、それぞれのよさを認め伸ばす ・地域保護者と力を合わせ教育活動に取り組む教職員 ・自らの課題を認識日々研鑽に努め ・成熟した社会人として生徒の範となり教育公務員としての自覚をもった行動ができる ・心豊かな生活を送れるよう余裕をもった仕事を計画的に進められる教委

前年度までの学校経営上の成果と課題

- ・学習者用端末の活用、学校図書館の積極的な活用などの工夫を進めたほか、放課後学習教室との連携・活用を進め学力の向上を図ることができた。
- ・市の研究推進校として、探究学習についての研究を民間企業とも連携しながら進めていくことができた。 ・研究発表会に向け探求学習の方法についての確実な定着を図れるようにしていきたい。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標	成果指標
学力向上	各学年の段階に応じた「確かな学力」の確実な定着	「探究学習」について理解、自ら課題を立て解決を図る姿勢と力の定着	研究テーマに掲げ、効果的な方法について研究しつつ、各学年で実践を重ねていく。	4 探究の手法を整理し、年間3回探究学習の場を設ける	4 生徒アンケート「課題の立て方がわかる」 80%以上
			4 探究の手法を整理し、年間2回探究学習の場を設ける	3 生徒アンケート 70～80%	
	個別最適な学びの実現に向けた支援の充実	生徒一人一人の学習の状況を把握し、学習者用端末の活用や補充学習の充実を進める。	2 探究の手法を整理し、年間1回探究学習の場を設ける	2 生徒アンケート 60～70%	
			1 探究の手法についての提案ができない	1 生徒アンケート 60%未満	
健全育成（いじめ防止）	思いやりや規範意識などの「豊かな人間性」の育成	人権意識の定着	4 ステイアプリの活用による個別学習支援 全生徒実施	4 国社数理英 観点別評価Cの割合 10%以下	
			3 ステイアプリの活用による個別学習支援 80%以上	3 国社数理英 観点別評価Cの割合 15%以下	
	不登校対策の実施	SC,SSW、巡回教員と担当教員による対策会議を毎週開催し、様々な連携した不登校対策を進める	2 ステイアプリの活用による個別学習支援 70%以上	2 国社数理英 観点別評価Cの割合 20%以下	
			1 ステイアプリの活用による個別学習支援 60%以上	1 国社数理英 観点別評価Cの割合 20%以上	
特色ある学校づくり	読書を核とした学力向上と人間性の涵養の推進	読書活動の充実・推進	4 人権に関わる教科等の指導回数 各学年6回以上	4 いじめ等人権意識に欠ける問題行動 0件	
			3 人権に関わる教科等の指導回数 各学年4回以上	3 いじめ等人権意識に欠ける問題行動 1～4件	
	学校図書館を活用した学力の向上	探究学習の場として学校図書館を活用し、学校図書館の学習センター機能の充実を進める。	2 人権に関わる教科等の指導回数 各学年2回以上	2 いじめ等人権意識に欠ける問題行動 5～9件	
			1 人権に関わる教科等の指導回数 各学年1回以下	1 いじめ等人権意識に欠ける問題行動 10件以上	
地域連携	コミュニティ・スクールによる取り組みの推進	学校運営協議会の活動の活性化	4 対策会議を経た具体的な取組、働きかけ 20件以上	4 年度末の不登校率 4%以下	
			3 対策会議を経た具体的な取組、働きかけ 15件以上	3 年度末の不登校率 5%以下	
	学校図書館を活用した学力の向上	探究学習の場として学校図書館を活用し、学校図書館の学習センター機能の充実を進める。	2 対策会議を経た具体的な取組、働きかけ 10件以上	2 年度末の不登校率 6%以下	
			1 対策会議を経た具体的な取組、働きかけ 10件未満	1 年度末の不登校率 6%以上	
業務改善	効率的な職務遂行による働き方改革の推進	業務の効率化と教員の意識改革を通じ、働き方改革を推進する。	4 読書量向上のための取組 年間10件以上	4 学校図書館の貸し出し冊数 年間7000冊以上	
			3 読書量向上のための取組 年間8件以上	3 学校図書館の貸し出し冊数 年間6000冊以上	
	学校図書館を活用した学力の向上	探究学習の場として学校図書館を活用し、学校図書館の学習センター機能の充実を進める。	2 読書量向上のための取組 年間6件以上	2 学校図書館の貸し出し冊数 年間5000冊以上	
			1 読書量向上のための取組 年間6件未満	1 学校図書館の貸し出し冊数 年間5000冊未満	
業務改善	効率的な職務遂行による働き方改革の推進	業務の効率化と教員の意識改革を通じ、働き方改革を推進する。	4 図書を活用した授業事例 20事例以上	4 生徒アンケート「探究に図書を活用した」 90%以上	
			3 図書を活用した授業事例 15事例以上	3 生徒アンケート「探究に図書を活用した」 80%以上	
	学校図書館を活用した学力の向上	探究学習の場として学校図書館を活用し、学校図書館の学習センター機能の充実を進める。	2 図書を活用した授業事例 10事例以上	2 生徒アンケート「探究に図書を活用した」 70%以上	
			1 図書を活用した授業事例 10事例以下	1 生徒アンケート「探究に図書を活用した」 70%未満	
業務改善	効率的な職務遂行による働き方改革の推進	業務の効率化と教員の意識改革を通じ、働き方改革を推進する。	4 CS委員会による取り組み例 6事例以上	4 CS委員による活動の自己評価満足度 90%以上	
			3 CS委員会による取り組み例 4事例以上	3 CS委員による活動の自己評価満足度 80%以上	
	学校図書館を活用した学力の向上	探究学習の場として学校図書館を活用し、学校図書館の学習センター機能の充実を進める。	2 CS委員会による取り組み例 2事例以上	2 CS委員による活動の自己評価満足度 70%以上	
			1 CS委員会による取り組み例 3事例未満	1 CS委員による活動の自己評価満足度 70%未満	
業務改善	効率的な職務遂行による働き方改革の推進	業務の効率化と教員の意識改革を通じ、働き方改革を推進する。	4 業務改善事例 6事例以上	4 教員の時間外勤務 月40時間超 0人	
			3 業務改善事例 4事例以上	3 教員の時間外勤務 月40時間超 2人	
	学校図書館を活用した学力の向上	探究学習の場として学校図書館を活用し、学校図書館の学習センター機能の充実を進める。	2 業務改善事例 2事例以上	2 教員の時間外勤務 月40時間超 4人	
			1 業務改善事例 2事例未満	1 教員の時間外勤務 月40時間超 4人以上	